

# 空自と米空軍の施設部隊による飛行場被害復旧等訓練について

## 1 目的

- 震災等の大規模災害や有事などの各種事態発生時は、航空機の運用のため、被害を受けた基地の機能をいかに迅速に復旧させるかが非常に重要。その際には、自衛隊と米軍が協力して基地の復旧作業を行うことが見込まれる（例：東日本大震災のトモダチ作戦）。
- 空自と米空軍の施設部隊による飛行場被害復旧等訓練を実施し、空自施設部隊の能力の向上及び米空軍との相互運用性の向上を図る。

## 2 共同訓練の概要

- 地理的に近いグループ内の自衛隊または米軍の各基地で交互に、日米共同で実施。
  - ①米軍三沢飛行場(空自三沢基地)
  - ②空自百里基地・空自入間基地・米軍横田飛行場、
  - ③空自那覇基地・米軍嘉手納飛行場・米軍嘉手納弾薬庫地区
- 毎年、各基地内の訓練場において、年4回、訓練1回につき1日から5日、年20日以内  
(米軍三沢飛行場(空自三沢基地)は、米軍及び空自管理地区において、それぞれ年間20日以内、合計40日以内)
- 詳細は別添のとおり

## 3 その他

- 基地内の訓練場において、土木作業等を実施するものであるが、周辺住民への影響を最小限にとどめることや安全性などに十分配慮



米軍による仙台空港復旧作業  
(東日本大震災)



障害物撤去



電源車設置



土堤構築

# 空自と米空軍の施設部隊による飛行場被害復旧等訓練について（訓練イメージ）

## ①滑走路等の被害復旧訓練

壊れた滑走路等を復旧するための一連の作業を日米で協力して実施

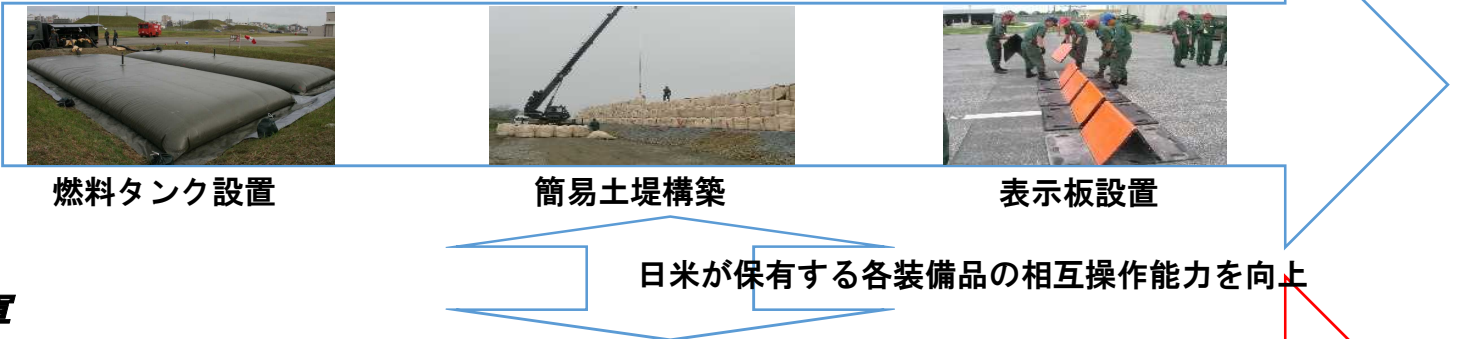
空自、米空軍



## ②飛行場等施設の被害復旧訓練

壊れた飛行場等施設を復旧するための一連の作業を日米で協力して実施

空自



日米が保有する各装備品の相互操作能力を向上

米空軍



# 空自と米空軍の施設部隊による飛行場被害復旧等訓練について（訓練イメージ）

## ③消防訓練

航空機火災と建物火災対処を日米で協力して実施



航空機火災対処



建物火災対処

## ④総合訓練

一連の流れ（シナリオ）で実施（有事や震災等の大規模災害などの各種事態）

